

廃ガラス再利用の新素材

ミラクルソル活用を

唐津 講演会で最新事例紹介

ガラス廃材を再利用した多目的環境素材「ミラクルソル」の活用法を探る講演会が、唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」であった。ミラクルソル協会の原裕理事長（日本建設技術社長）が、最新の活用事例などを紹介した。

ミラクルソルは、日本建設技術（唐津市北波多）が佐賀大などと協力して開発。比重や吸水率を調整でき、軽

量コンクリートの素材などとして注目された。最近では有害物質を吸着する特長に着目し、放射性物質の回収や、廃棄物処理場の土壌汚染対策などへの活用も期待されている。

ミラクルソルを使っ

ガラス廃材を再資源化した多目的環境素材「ミラクルソル」の活用について話すミラクルソル協会の原裕理事長（唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」）



た水産養殖用のろ過材は、インドネシアやマレーシア、ドイツなど世界12カ国へ輸出され評価を得ている。原理

理事長は「新しい工法を提案しながら、環境と技術に貢献したい」と話した。（星野一裕）